

豊岡市における障害者福祉の課題

(1) まちの移動手段の充実

障害のある人が、積極的に社会参加していくためには、移動手段の充実が欠かせません。そのため、障害の特性にかかわらず、だれもが使いやすい交通手段を確保する必要があります。また、通勤や通学、買い物など、障害のある人の場面に応じた交通手段の充実を図り、外出しやすい環境づくりが求められます。

(2) 障害のある人が地域で暮らすための理解の促進

障害のある人の日常生活や社会活動を支えるためには、周囲の理解と協力が欠かせません。家族をはじめ地域の方々に、障害の特性について理解を深める学習や啓発活動を実施する他、障害がある人もない人も、ともに生きる仲間としてお互いが理解し合えるように、相互の交流を深める場を持つこと等が求められています。共生社会の実現をめざして、こうした取り組みの充実を図ることが重要です。

(3) 人材の確保

障害のある人の多様な状態やニーズを的確に判断し、対応するためには、専門的な知識や経験のある人材の育成が欠かせません。サービス提供事業者の質的な向上を支えるためにも、研修や研修情報の積極的な提供が求められます。また、多様な事業者の参入を促し、適切な競争によるサービスの質的向上と利用者が満足できるサービス環境の向上につなげられることも課題となっています。

(4) 就労の充実

障害のある人が地域で自立した生活を送るためには就労が欠かせません。障害のある人が、障害の特性に応じた働き方ができるような支援が求められます。また、企業側が、障害に対する理解を深め、雇用機会を拡充させていく必要があります。さらに、通勤などの就労に伴う課題に対して総合的に支援していく必要があります。

(5) 災害対策と準備

予測できない災害に対して、万全な対策と準備を進める必要があります。少しでも迅速に避難し安全を確保するには、日頃からの意識や声かけが重要となります。障害のある人と行政、関係機関などがそれぞれの役割を持ち、協力して速やかな避難活動を進めることが求められます。

(6) 居場所づくり・絆づくり

障害のある人が、いつまでもいきいきと暮らしていくためには、出会いや良好な人間関係を提供する場が重要です。そこに行けば、顔見知りがいて、情報の交換や悩みを打ち明け合うような仕組みをつくり、課題の早期発見や早期解決できるような地域づくりの支援が必要となります。